



馬の学校通信

2023. 12 vol.9 2

発行 馬の学校

事務局 〒409-1501 山梨県北杜市大泉町西井出 3197-3-203 TEL/FAX : 0551-30-4397

E-mail : mine@horseschool.org ホームページ : <http://www.horseschool.org>



UMANOCAKHO



プレーパーク&仕事復帰 (うまエッセイ 18)



出産後しばらくは実家で過ごしていましたが、名古屋に戻ってきたら日中は母子2人きり。ちょうど春先、出歩くのにいい気候でしたので、お散歩にでかけたり、近所の保育園の園庭開放に行くようになりました。そこで顔見知りのお友だちができるようになると、娘も楽しそうに遊び、私の誰か大人と話したいという欲求も満たされ、娘も早く寝てくれる(←これ、大切!)。1日1回は外へ行く生活になりました。

そして、1歳半になった頃には、「てんぱくプレーパーク」にも通い始めました。プレーパークとは、自分の責任で自由に遊ぶことをモットーにした遊び場です。かつて住居学科で学んでいた時、都市における子どもの遊び場に関心を持って、日本や海外のプレーパークを調べたことがありました。また、大学院を探するときには、プレーパークにかかわっている先生がいる大学なら、自分の研究につながるかもと考えて、てんぱくプレーパークの方にもお話を伺いに行きました。そんな縁のあるプレーパークが自転車で行ける距離にあるとは、何とラッキーなことでしょう! 「森のひろば」という未就園児向けの集まりに参加するようになり、お昼ご飯をみんなで作って1日プレーパークで過ごすことが、親子にとっての楽しみになりました。そしてそこに集まる人たちとの出逢いから、その後とても豊かな幼児期を過ごすことにつながりました。

ちょうど同じ頃、馬の学校の活動を再開しました。個人事業のメリットは、好きなだけ育休が取れるということ。デメリットは、その間の保障はなにもなく、全ての責任を自分で負うということです。休んでいる間に協力先の担当者が変わり、引継ぎもされていなかったり、2年近く休んだことで参加者もボランティアも入れ替わりが多くあり、いろいろなことを一から作り直すという感じでした。そんな中でも、関西方面での活動は、実家に娘を預けることができたのでとても助かりました。やはり仕事をして社会とかかわっていくことは楽しく、自分にとって必要なことなのだと再確認しました。そして仕事か育児かという選択ではなく、生きることの中に仕事も育児も位置付けていく方法を、模索していくことになりました。



おすすめの本

『大きな森の小さな家』

ローラ インガルス ワイルダー著 福音館文庫

かつてNHKで放送されていたドラマ「大草原の小さな家」を観たことがある方も多いかと思いますが、その原作第1巻です。100年前の北米の森林が舞台で、ローラ一家の開拓生活が描かれています。娘にとっては、麦の収穫の場面は、裏山での稲刈りの体験と重なり、脱穀の場面で馬が出てくるのが興味深かったようです。クマが出てくる場面は、今年は他人事ではありませんね🐾



今月のミルクィー



Merry
Christmas !



運動中♪



ミルキーは無事に引越しました！

馬場と馬小屋の完成に向けては、清水馬三昧さんにお世話になりつつ、多くの方にお手伝いいただきました。丸太の皮を剥いたり防腐剤を塗ったり、馬場の砂を平らにしたり、リサイクルの材木を仕分けたり切ったり……。ミルキーたちがやってくることを想像し、その先にできることをお話ししながら、みんなで作業をする時間は、大変ながらもとても楽しかったです。そして10月21日、埼玉県の牧場からやってきたポニーのアキオと一緒に、裏山へ引越しました。2頭一緒だったお陰で、引越し初日からとても落ち着いて過ごしていました。食べ物を前にするといじわるじいさんになるミルキー、ちょっかいを出してはミルキーに怒られるアキオ、仲が良い時も悪い時もありますが、のんびり日向ぼっこをしながら暮らしています。

先日、直接手伝って下さった皆様をお招きして、「お手伝いありがとう会」を行いました。子どもたちはすぐに仲良くなり、ツリーハウスやブランコで遊んだり鬼ごっこをしたり。大人たちも新たな出逢いに話も弾んでいた様子。そんな横でミルキー&アキオがのんびり稲わらを食べているという、素敵な光景が見られました。来春からは、直接ミルキーたちに乗ったりふれあったりしていただきながら、裏山でいろいろは人たちがつながっていく、そんな場にできるようにしていきたいと思います。



クラファンへのご支援

ありがとうございました

多くの方にご支援いただいたおかげで、無事にクラウドファンディングが成立いたしました。本当にありがとうございました。経済的にとても助かっただけでなく、裏山でやろうとしていることを応援していただけて、とても勇気づけられました。

この勢いに乗って、裏山では年明けからカフェ制作に向けて動き出します。のんびりウマーズ&ヤギーズを見ながらお茶したり、ウマーズとのふれあいを楽しんだ後は裏山産のお野菜やお米たっぷりのランチが食べられたり、、、素敵な空間になること間違いなしです。

ミルキーのLINE スタンプ販売中！

ミルキーのラインスタンプを販売中です。第1弾の手書きスタンプに続き、第2弾は写真スタンプです。スタンプメーカーというアプリを使って、娘が作ってくれました。売上金は娘のおこづかいになるということもあり、売れ行きが気になるようです。でも何より、自分が作ったもので、他の人たちに喜んでもらえるという貴重な体験になっているのではと思います。ぜひミルキースタンプを使ってみてください！次は URAYAMA スタンプかな？



編集後記

北杜市に移住してきて2年が経ちました。2年前、何か確固たるものがあつたわけでもなく、ただミルキーの活躍の場を広げて、一緒に生きていくために移住を選択。よくぞ夫が送り出してくれたものだと、感謝しかありません。目の前の、できることを大切に過ごしてきた日々でした。いろいろなことが次々つながって、今ミルキーが裏山にいるということが、不思議でもあり、でも必然だったようにも思えます。ミルキーが裏山で日向ぼっこをしている姿は、ミルキーが裏山に来る前から、頭の中でも鮮明に見えていました。自分で「馬を飼う」ことの大変さを感じながらも、それを超える楽しさを娘と共有できていることが、とてもありがたいです。娘の年齢も考えると、「今」だったんだなと納得。そして、支えてくれ、一緒に楽しんでもくれる仲間に出逢えたことが何より嬉しいです。さあ、3年目も楽しもう！

峯崎 友香理